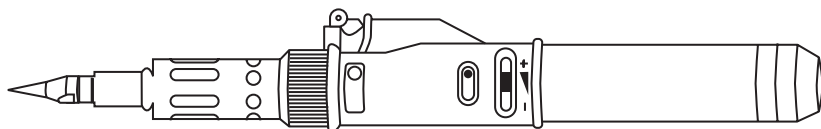


DREMEL®

Model 2000


取扱説明書

VERSATIP



DREMEL®

お客様相談窓口

 0-800-500-4159 ヨーロッパ

この相談窓口は、日本国内向けです

www.dremel.jp

Dremel 製品の製造と販売は
ボッシュDremel部門が行っております



目次



警告表示の区分	3
安全上のご注意	4
用途	8
仕様	8
各部の名称	9
ガスを充てんする	10
先端工具を取り付ける・取り外す	11
カタリストの取り付け・取り外し	11
はんだ付け先端工具の取り付け・取り外し	12
切断ナイフの取り付け・取り外し	13
形削りナイフの取り付け・取り外し	13
熱風用先端工具の取り付け・取り外し	14
広角炎用ヘッドの取り付け・取り外し	14
デフレクターの取り付け・取り外し	15
作業する	15
先端工具を取り付けて使用する	16
直火を使用する	17
お手入れ	18
乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る	18
はんだ付け先端工具の汚れをふき取る	18
ノズルの交換	18
保管	19
VersaTip を使用した後は、きちんと保管する	19
故障かなと思ったら	19
修理を依頼するときは	20


この取扱説明書では、Dremel 2000 VersaTip を“工具”として説明しています。

- ◆ 火災、けがなど事故を未然に防ぐため、次に述べる『注意事項』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『注意事項』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しくご使用ください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

-  警告 ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
-  注意 ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

安全上のご注意

この取扱説明書は、大切に保管してください。

警告

1. 作業場をいつもきれいにし、十分に明るくしてください。
 - 散らかっていたり、暗かったりすると事故の原因になります。
2. 工具の近くに可燃物を置かないでください。
 - 工具からの炎で、引火する恐れがあります。
3. 工具の使用中は、子供や作業員以外の人を作業場へ近づけないでください。
 - 気が散ると集中できず、事故の原因になります。
4. 屋外または十分に換気した室内でのみ、工具を使用してください。
5. 工具の使用中は、注意を怠らず、作業に集中してください。また、常識を働かせてください。
 - 使用中に少しでも注意をそらすと、けがの原因になります。
6. 疲れているときや、薬またはアルコール類を飲んでいるときは、工具を使用しないでください。
 - 集中できず、けがの原因になります。
7. 保護めがねを着用してください。
 - けがの防止につながります。
8. 保護具を着用してください。
 - 防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓、耳覆い（イヤマフ）の着用は、けがの防止につながります。



警告

9. **きちんとした服装で作業してください。**
長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長い髪は、引火する恐れがあります。
10. **保護服を着用してください。**
 - 工具から出る炎による引火や溶けたはんだによるやけどの防止につながります。
11. **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
 - 予期しない状況でも、工具がコントロールできるようになります。
12. **加工するものをしっかりと固定してください。**
加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。
 - 手で保持するより安全で、両手で工具を使用できます。
13. **工具にガス漏れ（ガスの臭いがするとき）、損傷、誤作動が起きたときは、直ちに使用を中止してください。**
 - 作業を続けると、事故やけがの原因になります。
14. **ガス漏れしている（ガスの臭いがする）ときは、直ちに工具を屋外に持ち出し、点検してください。**
点検時は、炎を点火せず、締め付け具にせっけんの泡を塗布して点検してください。
 - 屋内で点検したり点火したりすると、事故やけがの原因になります。
15. **ガスの充てんは、十分に換気した場所で行ってください。**
**また、発火の原因になる直火、ライター、電気調理器、作業
者以外の人から離れて充てんしてください。**

警告

16. ガスボンベに記載されている取扱説明書と警告を読んでください。
17. 工具を改造しないでください。
 - 改造は、事故やけがの原因になります。
18. 工具を分解しないでください。
 - 分解は、事故やけがの原因になります。
19. 温度が 10～50℃の湿気の少ない場所で、工具を保管してください。
20. 工具を使用しない場合は、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
21. 使用直後の先端工具やノズルは、非常に熱くなっています。先端工具やノズルの交換、クリーニングは、十分に冷ましてから行ってください。
22. 工具に適合する先端工具を使用してください。
 - 適合しない先端工具の使用は、炎の調節ができないなど、事故の原因になります。
23. 用途に合わせて先端工具を選択してください。
24. ブタンガスの取り扱いに注意してください。
 - ブタンガスは圧縮されているとき、可燃性が高くなります。
25. ガスタンクやガスボンベに、穴をあけたり、焼却したりしないでください。
 - 事故やけがの原因になります。

警告

26. 工具は、注意深く手入れをしてください。

- ガスの充てんや先端工具の交換は、取扱説明書に従ってください。

27. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 部品の破損、取り付け状態、その他作業に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- 損傷した部品の交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店またはお客様相談窓口へ修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店またはお客様相談窓口へ修理を依頼してください。

28. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書、及び Dremel カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になるので使用しないでください。

29. 工具の修理は、専門店で依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店またはお客様相談窓口にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

用 途

適切な先端工具を使用することで、以下の用途に使用できます。

- はんだ付け
- ナイロンテープの切断
- プラスチックや熱加工材の溶解・成型
- 直火作業
- プラスチックシートや熱加工材の切断
- 熱加工材の収縮
- 塗料除去の準備
- 電線に使用する感熱絶縁材の収縮

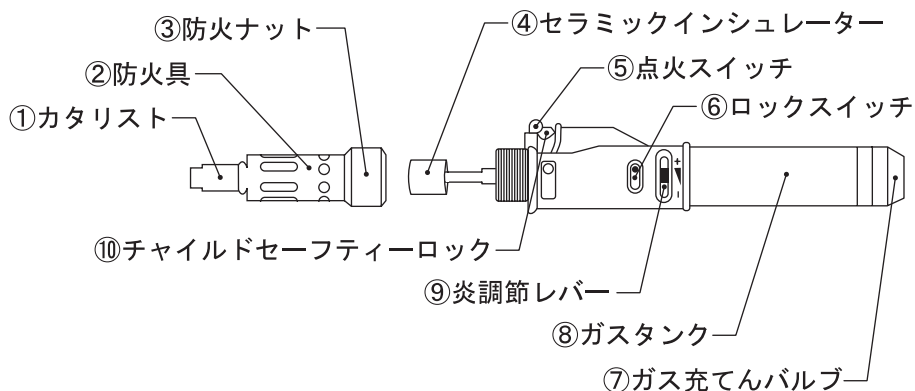
仕 様

商品名	Dremel VersaTip
型 番	2000
使用ガス	精製ブタンガス
ガス充てん量	17ml/9g
1回の充てんでの使用時間	約 45 分（炎調節レバー 最高設定時） 約 90 分（炎調節レバー 最低設定時）
加熱時間*1	約 25 秒
入熱量（ガス消費量）	12g/h
冷却時間*2	15 分（防火具） 17 分（はんだ付け先端工具）
熱出力	
直 火	1200℃
熱 風	680℃
はんだ付け先端工具	550℃
質 量（本体のみ）	135g

*1 点火ボタンを押してから、はんだ付け先端工具が作業適正温度に達するまでの時間です。

*2 作業終了後、温度が 25℃以下に下がるまでの時間です。

各部の名称

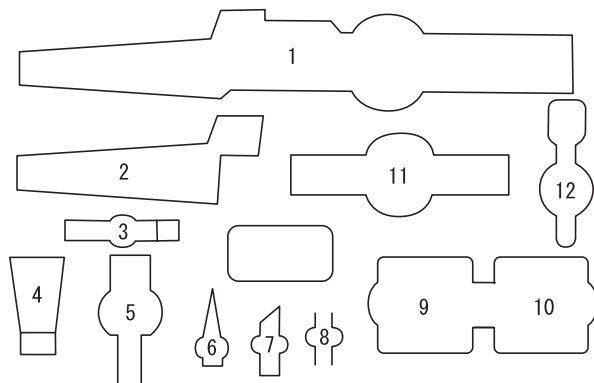


こん包品の確認

箱の中のすべての部品を取り出し、下記の部品がすべてあるか確認してください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 本体 | 7. 切断ナイフ |
| 2. キャップ（本体装着済み） | 8. 熱風用先端工具 |
| 3. 形削りナイフ | 9. はんだ用スポンジと容器 |
| 4. 広角炎用ヘッド | 10. 熱先端工具用容器 |
| 5. デフレクター | 11. はんだ |
| 6. はんだ付け先端工具（本体装着済み） | 12. レンチ2本（7mm・8mm） |

備考： 部品が不足していたり、説明書についてご不明な点があったりする場合は、Dremel お客様相談窓口までご連絡ください。



ガスを充てんする



警告

- ◆ 必ず、精製ブタンガスを使用してください。
ブタンガス以外のものを、絶対に充てんしないでください。
- ◆ ガスの充てんは、十分に換気した場所で行ってください。
また、発火の原因になる直火、ライター、電気調理器、作業者以外の人から離れて充てんしてください。
- ◆ 必ず、ガスボンベに記載されている取扱説明書と警告を読んでください。
- ◆ 工具にガス漏れ（ガスの臭いがするとき）、損傷、誤作動が起きたときは、直ちに使用を中止してください。
作業を続けると、事故やけがの原因になります。
- ◆ ガス漏れしている（ガスの臭いがする）ときは、直ちに工具を屋外に持ち出し、点検してください。
点検時は、炎を点火せず、締め付け具にせっけんの泡を塗布して点検してください。
屋内で点検したり点火したりすると、事故やけがの原因になります。

1. 図のように工具とガスボンベを持ちます。



2. ガスボンベに記載されている取扱説明書と警告に従って、ガスタンク⑧にブタンガスを充てんします。
ブタンガスがガス充てんバルブ⑦から噴出したら、充てん完了です。



警告

- ◆ ガスタンクに過剰充てんしないでください。

先端工具を取り付ける・取り外す

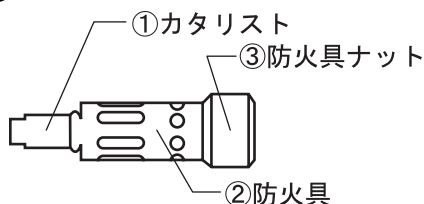


警告

- ◆ 先端工具の取り付け・取り外しをするときは、先端工具や本体が冷めていることを確認してください。
冷めていない状態で取り付け・取り外し作業を行うと、やけどの原因になります。
- ◆ 用途に合わせて先端工具を選択してください。
- ◆ 工具に適合する先端工具を使用してください。適合しない先端工具の使用は、炎の調節ができないなど、事故の原因になります。

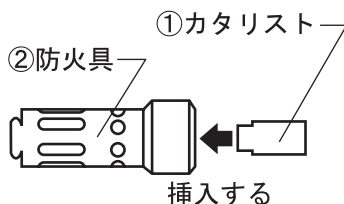
カタリストの取り付け・取り外し

先端工具を取り付けるには、カタリスト①を取り付ける必要があります。



取り付け

1. 防火具ナット③を緩め、防火具②を取り外します。
2. カタリスト①を防火具②に挿入して取り付けます。
カタリスト①は、細い部分を前に向けて挿入してください。



3. カタリスト①を取り付けた防火具②を本体に取り付け、防火具ナット③をしっかり締めます。

取り外し

1. 防火具ナット③を緩め、防火具②を取り外します。
2. カタリスト①を防火具②から取り外します。
3. 防火具②を本体に取り付け、防火具ナット③をしっかりと締めます。

はんだ付け先端工具の取り付け・取り外し

はんだ付け先端工具をカタリスト①に取り付けると、はんだ付けができます。



取り付け

カタリスト①にはんだ付け先端工具をねじ込み、レンチ(7mm)で締めます。
はんだ付け先端工具は、時計方向に回すと締まります。

取り外し

はんだ付け先端工具をレンチ(7mm)で回して緩め、取り外します。
はんだ付け先端工具は、反時計方向に回すと緩みます。

備考： 必要があれば、レンチ(8mm)でカタリスト①を押さえてください。

切断ナイフの取り付け・取り外し

切断ナイフをカタリスト①に取り付けると、切り口がぼつれずにナイロンロープを切断できます。



取り付け

カタリスト①に切断ナイフをねじ込み、レンチ(7mm)で締めます。切断ナイフは、時計方向に回すと締まります。

取り外し

切断ナイフをレンチ(7mm)で回して緩め、取り外します。切断ナイフは、反時計方向に回すと緩みます。

備考： 必要があれば、レンチ(8mm)でカタリスト①を押さえてください。

形削りナイフの取り付け・取り外し

形削りナイフをカタリスト①に取り付けると、プラスチックシートや熱加工材を削れます。



取り付け

カタリスト①に形削りナイフをねじ込み、レンチ(7mm)で締めます。形削りナイフは、時計方向に回すと締まります。

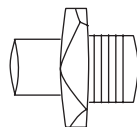
取り外し

形削りナイフをレンチ(7mm)で回して緩め、取り外します。形削りナイフは、反時計方向に回すと緩みます。

備考： 必要があれば、レンチ(8mm)でカタリスト①を押さえてください。

熱風用先端工具の取り付け・取り外し

熱風用先端工具をカタリスト①に取り付けると、熱風が吹き出し、プラスチックやその他の熱加工材の溶解・成型ができます。



取り付け

カタリスト①に熱風用先端工具をねじ込み、レンチ(7mm)で締めます。熱風用先端工具は、時計方向に回すと締まります。

取り外し

熱風用先端工具をレンチ(7mm)で回して緩め、取り外します。熱風用先端工具は、反時計方向に回すと緩みます。

備考： 必要があれば、レンチ(8mm)でカタリスト①を押さえてください。

広角炎用ヘッドの取り付け・取り外し

広角炎用ヘッドをカタリスト①に取り付けると、塗料を除去するための準備作業ができます。



取り付け

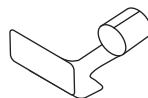
カタリスト①に広角炎用ヘッドをはめ込みます。

取り外し

カタリスト①から広角炎用ヘッドを抜き取ります。

デフレクターの取り付け・取り外し

デフレクターをカタリスト①に取り付けると、広い加工面やパイプを加熱できます。電線に使用する感熱絶縁材を収縮することもできます。




取り付け

カタリスト①にデフレクターをはめ込みます。

取り外し

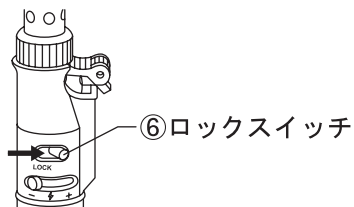
カタリスト①からデフレクターを抜き取ります。

作業する

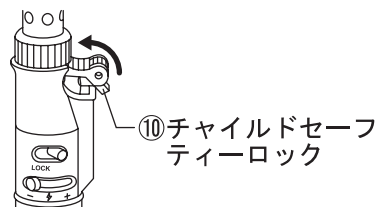
-  **警告**
- ◆ 先端工具は大変に熱くなります。やけどに注意してください。
 - ◆ 保護めがねを着用してください。
 - ◆ 保護具を着用してください。
防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓、耳覆い（イヤマフ）の着用は、けがの防止につながります。
 - ◆ きちんとした服装で作業してください。
長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長い髪は、引火する恐れがあります。
 - ◆ 保護服を着用してください。
工具から出る炎による引火や溶けたはんだによるやけどの防止につながります。

先端工具を取り付けて使用する

1. ロックスイッチ⑥を矢印の方向にスライドさせ、ロックを解除します。ロックが解除されていないと点火できません。

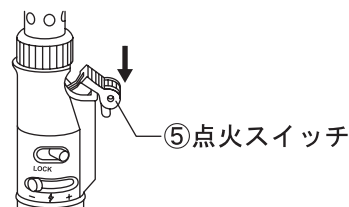


2. チャイルドセーフティーロック⑩を矢印の方向に動かして解除します。

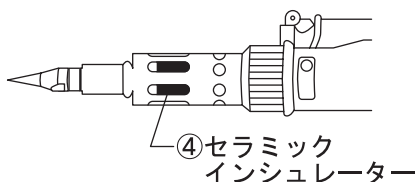


3. 点火スイッチ⑤を矢印の方向に動かして点火させます。点火スイッチ⑤はそのまま保持してください。

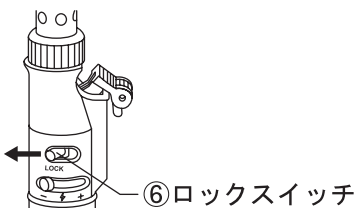
備考： 本体が冷えている場合、点火時にヒューと音がすることがあります。これは工具の異常を示すものではありません。



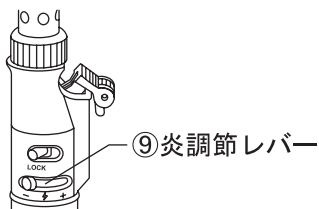
4. セラミックインシュレーター④が赤くなることで、点火したことを確認します。赤くならない場合は、手順2と3を繰り返してください。



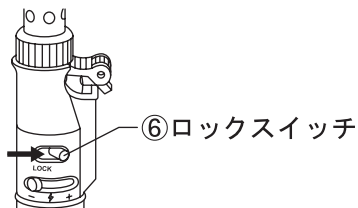
5. 点火スイッチ⑤を保持した状態で、ロックスイッチ⑥を“LOCK”の位置にスライドさせます。ロックすると、点火スイッチ⑤から指を離しても、点火の状態が維持されます。



6. 温度を調節します。
炎調節レバー⑨を“+”側に動かすと、
温度が上がります。
炎調節レバー⑨を“-”側に動かすと、
温度が下がります。



7. 作業が終わったら、点火スイッチ⑤の
ロックを解除します。
解除するときは、ロックスイッチ⑥を矢
印の方向にスライドさせます。
ロックを解除すると、直ちにブタンガス
の流出が止まり、炎が消えます。



直火を使用する

直火を使用するときは、カタリスト①と先端工具をすべて取り外してください。
カタリスト①を取り外したあとは、必ず防火具②を取り付けてください。

(11 ページ「カタリストの取り付け・取り外し」参照)

直火は点火後、直ちに作業に適した温度になります。

作業手順は、「先端工具を取り付けて使用する」を参照してください。

お手入れ



警告

- ◆ 使用直後の先端工具は非常に熱くなっています。先端工具の交換やクリーニングは、十分に冷めてから行ってください。

乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

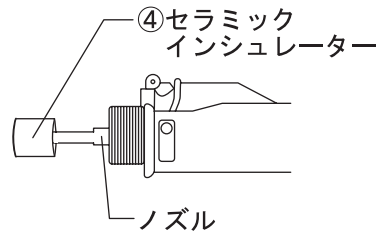
汚れがひどい場合は、布に少量の中性洗剤を含ませてふいてください。ベンジンなど、溶剤は使用しないでください。変色や引火する原因になります。

はんだ付け先端工具の汚れをふき取る

はんだ付け作業後や作業中、先端工具に余分なはんだが付着しているときは、先端工具が熱いうちに、ぬれたスポンジで付着したはんだをふき取ってください。はんだ付け先端工具のクリーニングに、紙やすりは使用しないでください。先端工具の寿命を短くする原因になります。

ノズルの交換

ノズルは、ボタンガスに含まれる不純物で詰まることがあります。ノズルが詰まったまま使用すると、工具の寿命が短くなります。



警告

- ◆ ノズルの交換は、ノズルや本体が十分に冷めてから行ってください。冷めてない状態で先端工具やノズルに触れると、やけどの原因になります。

備考：交換ノズルは販売店でお求めになれます。

1. 防火具ナット③を緩めて、防火具を取り外します。
2. セラミックインシュレーター④を回して、本体から取り外します。

3. ノズルをゆっくり回しながら、本体から抜き取ります。
4. 新しいノズルを取り付けます。
ノズルは細い方を外側にして取り付けます。
5. セラミックインシュレーター④を取り付けます。
6. 本体に防火具②を取り付けて、防火具ナット③で締めます。

保 管

VersaTip を使用した後は、きちんと保管する

- 子供の手の届くところ、または鍵のかからないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 温度が 10℃以下または 50℃以上の場所で保管しない。
10℃以下で保管すると、点火しにくくなります。
また、50℃以上で保管すると、圧力が上がり事故の原因になります。

故障かなと思ったら

- ① 取扱説明書を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確認します。

症 状	原 因	対 処
点火スイッチ⑤を押しても点火しない	ボタンガスがガスタンク⑧に充てんされていない	ガスを充てんする 10 ページ「ガスを充てんする」参照

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または Dremel お客様相談窓口までお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店または Dremel サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、Dremel サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

Dremel お客様相談窓口 ☎ 0-800-500-4159

このご相談窓口は、日本国内向けです。

Dremel ホームページ <http://www.dremel.jp>

Dremel サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

株式会社バンテックゼット□ジ内

☎ 0-800-500-4159 FAX 048-536-7176

Dremel サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡親宮町の野 741-1

☎ 0-800-500-4159 FAX 092-963-3407

荷物には、当社では責任を負うことができない損失または運送中の損害に対して保険をかけておくことを推奨します。

保証は、最初に登録した購入者に対してのみ適用されます。改ざん、事故、誤用、過失、認められていない修理もしくは改造、承認されていないアタッチメントまたは原材料もしくは製造工程上の問題に関係のないその他の原因による製品の損害については、保証には適用されません。

被用者、代理人、販売者、またはその他の者は、Dremel を代表していずれの保証を行う権限はありません。Dremel の検査により、問題が、原材料または製造工程上の問題に起因していたことが期限内に示された場合、Dremel は、無償で本製品を修理または交換し、本製品を前払いで返送致します。通常の摩耗または誤用により必要な修理、または保証期間を過ぎた製品の修理は、修理が可能な場合は、規定の工場渡し費用で請求させていただきます。

Dremel は、明示的または黙示的にかかわらず、いずれの種類他の保証は作成せず、上述の義務を超える、商品性および特定目的の適合性の黙示的な保証のすべては、Dremel によりここに排除され、この限定保証から除外されます。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
 - 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
 - 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。
-

DREMEL®

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ： <http://www.dremel.jp>

〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7

Dremelお客様相談窓口

 **0-800-500-4159**

この相談窓口は、日本国内向けです